

協働テーマ

デジタル技術を活用して都営バスの乗降データを効率的に取得し、
路線やダイヤの設定・見直しに活かしたい！

課題



【バス路線・ダイヤの見直しのために必要なデータ】

- 全乗客の停留所ごとの乗車人数・降車人数データ
- 全乗客がどの停留所から乗ってどの停留所で降りているかの乗降データ（ODペア）
（※OD：Origin（起点）、Destination（終点））
- 可能であれば乗客ごとの乗車券種別も取得したい。

背景

- 現状、乗車人員を常時把握することが可能なデータは、23区内（料金均一区間）は乗車時のICカードのタッチデータのみ、多摩地区は乗車時・降車時のICカードタッチデータのみである。
- 過去、調査員による乗り込み調査により、調査カードを乗客に配布し、回収する方法で乗降調査を実施していた。
- バス停別乗降者数のデータをカウントできる機器を導入している事例はあるが、加えてODペアデータも取得し、OD表を作成したい。

現場からの コメント



- 乗客の画像データを用いてデータを取得する場合、個人情報の収集に該当しない方法で常時データを取得したい。
- 可能な限りバスの乗降に時間がかからない方法でデータを取得したい。

【都営バス乗車の流れ】

- 23区：前扉から乗車→乗車時に運賃支払→中扉から降車
- 多摩：中扉から乗車→ICカードタッチまたは整理券を取る→降車時に運賃支払→前扉から降車

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

交通局 都営バス部門
（交通局自動車部）

都営バスの運行計画、停留所施設の整備等を行っている